

第 17 回 コンクリート構造物の 補修，補強，アップグレードシンポジウム

The 17th JSMS Symposium on Concrete Structure Scenarios

参加者のしおり

主 催：公益社団法人日本材料学会

日 時：2017 年 10 月 12 日（木），13 日（金）

場 所：京都テルサ

ご 挨拶

我が国では、東日本大震災以降も、地震や豪雨等による自然災害が頻発しており、私たちの安全・安心な生活を守るためには、社会基盤施設の健全性を日頃から十分に確保するとともに、被災後の復元力（レジリエンス）を高める努力が必要となっている。このレジリエンスの向上を目指す上では、コンクリート構造物を合理的に維持管理するための技術に加えて、高機能で高耐久な構造物の実現に向けた革新的設計・施工技術の追求が不可欠である。

2001年に創設された本シンポジウムでは、毎年1回、コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードに関する最新の研究、技術開発およびその実用化に関する成果の発表と議論が行われ、上記の背景に沿った形での成長と発展を遂げ、今年で17回目を迎える。本シンポジウムにより、材料工学をはじめとして、構造工学、非破壊検査工学等、コンクリート構造物の維持管理に関わる諸問題に対して、専門を異にする技術者、研究者が一堂に会し、分野横断的な議論の場が設けられてきた。論文投稿件数は年々増加しており、当該分野における最先端の知見が集約される場であるとの認識が、技術者、研究者の間で広く浸透してきたことは、大会主催者としても喜ばしい限りである。

本シンポジウムとともに発行される論文報告集に掲載される「論文」と「報告」は、それぞれ3名の査読者による査読結果と、それらを踏まえた論文集編集委員会での厳正な審議を経た上で、採択され、発表されるに至っている。本論文報告集のレベルが高く維持され続けているのは、歴代の実行委員の方々および論文の審査に携わっていただいた査読者の皆様方のご尽力の賜物である。これまでの活動に多大なる敬意を表すとともに、今後も引き続き、シンポジウムの発展に向けて、ご理解とご協力をお願いしたい。

なお、今回のシンポジウムは、一昨年から行われている日本材料学会の材料WEEKの期間中に開催される。材料WEEKは、従来の材料工学連合講演会の趣旨を引き継ぐ企画として開催されるものであり、さまざまな材料分野のワークショップや部門委員会の企画によるシンポジウム、講習会ならびに公開部門委員会などが予定されている。この企画により、コンクリート分野以外の方にも、本シンポジウムについて知って頂く機会になればと願うとともに、本シンポジウムの参加者各位に材料学会の他分野の活動にも興味を持っていただくきっかけになれば幸いである。

2017年10月

コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウム
実行委員会 委員長 鎌田 敏郎

[招待講演]

第1会場 (11:30~12:30)

講演題目：コンクリートを砕くー既存の概念を砕き次世代へー

講演者：諫山 憲司
(広島国際大学保健医療学部 准教授)

司会：渡辺 健 (徳島大学大学院)

[一般講演]

論文, 報告 (◇印) とともに: 発表 10 分, 質疑 5 分

第 1 日目 10 月 12 日 (木)

セッション 1 第 1 会場 (9:45~11:15)

【鋼材腐食 1】

座長: 掛川勝 (太平洋マテリアル)・花岡大伸 (金沢工業大学)

1	塩分を含む砂中に埋設された鉄筋コンクリートの塩害評価	石井一騎 宮里心一	金沢工業大学 金沢工業大学
2	塩化物イオン水溶液環境下での応力腐食割れ試験を用いた PC 鋼線の破断特性の検討	黒野承太郎 美濃智広 森川英典 河村睦	神戸大学 神戸大学 神戸大学 神鋼鋼線工業
3	実構造物から採取した鉄さびのラマン分光法による生成物評価	齊藤亮介 高谷哲 羽村陽平 西村徹也	清水建設 京都大学大学院 島津テクノリサーチ ブリッジ・エンジニアリング
4	軍艦島(端島)における鉄筋腐食の進展メカニズム	高谷哲 羽村陽平 土井康太郎 左藤眞市 野口貴文	京都大学 島津テクノリサーチ 物質・材料研究機構 大阪府立産業技術総合研究所 東京大学
5	凍結防止剤散布下のコンクリート橋脚に対する腐食リスクの検討	菊池創太 久保善司 木虎久人 柳井喜弘	金沢大学 金沢大学 西日本高速道路エンジニアリング 関西 西日本高速道路エンジニアリング 関西
6	高炉スラグがコンクリート中の鋼材腐食に与える影響	藤原斉 中山敦郎 藤井隆史 綾野克紀	岡山大学 岡山大学 岡山大学 岡山大学

セッション 2 第 2 会場 (9:45~11:15)

【補修工法】

座長: 新名勉 (阪神高速道路)・遠藤裕文 (寒地土木研究所)

7	断面修復工法における母材コンクリート脆弱部の性能改善に関する検討	宇野剛志 内藤勲 横田弘 上松瀬慈	北海道大学 寒地土木研究所 北海道大学 北海道大学
8	断面修復材用プライマーの水中耐久性に関する研究	片平博 古賀裕久	土木研究所 土木研究所
9	下地処理方法が無機系表面被覆工法の界面の一体性に及ぼす影響	木下果穂 細田暁	横浜国立大学 横浜国立大学
◇10	各種表面被覆工法を施工した高架橋および暴露供試体の 15 年目追跡調査	渡辺佳彦 荒巻智 佃洋一 山田卓司	西日本旅客鉄道 西日本旅客鉄道 日本塗料検査協会 日本塗料検査協会

11	開削トンネルに適した止水材料選定試験方法の検討	瀬筒新弥 大槻あや 保栖重夫 小椋紀彦 岸利治	東京地下鉄 東京地下鉄 東京地下鉄 CORE 技術研究所 東京大学
12	温泉地帯に位置する橋脚基礎に発生した隙間部へのひび割れ注入工法による補修方法に関する実験的検討	BUI QUANGHAO 審良善和 山口明伸 武若耕司 北村真友美	鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学

セッション3 第3会場 (9:45~11:15)

【あと施工アンカー】

座長：竹田宣典（広島工業大学）・宮里心一（金沢工業大学）

13	金属系あと施工アンカーの引張耐力に関する基礎的研究	中村英佑 栗原勇樹 古賀裕久	土木研究所 土木研究所 土木研究所
14	各種要因が接着系あと施工アンカーの付着耐力に及ぼす影響に関する実験的検討	佐原愛士 佐藤靖彦 高橋宗矩 石原力也	西日本旅客鉄道 北海道大学 日本ヒルティ 日本ヒルティ
15	接着系あと施工アンカーのコーン状破壊モードにおける耐力算定方法	坂上友紀 佐藤あゆみ 武田浩二 村上聖	熊本大学 熊本大学 熊本大学 熊本大学
16	金属系あと施工アンカーの疲労抵抗性に関する研究	松浦史晃 国枝稔 木下幸治 北川寛和 牧田通	岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学 中日本高速道路 中日本高速道路
17	繰り返し荷重を受けた接着系あと施工アンカーの打撃応答特性に基づく付着性能評価に関する基礎的研究	舟波尚哉 高橋知也 池田富士雄 井山徹郎 村上祐貴	長岡工業高等専門学校 長岡工業高等専門学校 長岡工業高等専門学校 長岡工業高等専門学校 長岡工業高等専門学校
18	電磁パルス法による接着系あと施工アンカーの施工不良を対象とした非破壊評価手法	山本貴大 鎌田敏郎 寺澤広基 服部晋一	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学

セッション4 第1会場 (13:30~15:15)

【鋼材腐食2】

座長：富山潤（琉球大学）・染谷望（海上・港湾・航空技術研究所）

19	曲げ荷重作用下でコンクリート部材のひび割れが鉄筋腐食に与える影響	服部祐介 高橋周斗 小林孝一	岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学
----	----------------------------------	----------------------	----------------------

20	表面被覆材の塗布部位による鉄筋の腐食抑制効果	加藤智丈 櫻庭浩樹 佐々木巖 西崎到	土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所
21	超音波法及び AE 法による鉄筋腐食に起因するひび割れの評価	西山航平 渡邊健 福富隼人 橋本親典 石丸啓輔	徳島大学 徳島大学 本四高速 徳島大学 徳島大学
22	復極量から防食中鉄筋の腐食速度を把握する手法の提案	橋本永手 加藤佳孝 渡辺佳彦 平間昭信	東京理科大学 東京理科大学 西日本旅客鉄道 飛島建設
◇23	加振レーダ法による塩害を受けた RC 部材への鉄筋腐食評価の適用	本多秀聡 三輪空司 志岐仁成 鬼束俊一	群馬大学 群馬大学 東電設計 東京電力
24	母材および断面修復部の電気化学的特性を考慮したマクロセル腐食速度の解析的検討	花岡大伸 宮里心一 網野貴彦 宮崎悠太 山口圭	金沢工業大学 金沢工業大学 東亜建設工業 金沢工業大学 金沢工業大学

セッション5 第2会場 (13:30~15:15)

【表面含浸工法】

座長：羽淵貴士（東亜建設工業）・蔵重勲（電力中央研究所）

25	けい酸塩系表面含浸工法の塩分浸透抑制指標に関する定量的評価	近藤拓也 樋口和朗 宮里心一 横井克則 山田悠二	高知工業高等専門学校 高知工業高等専門学校 金沢工業大学 高知工業高等専門学校 高知工業高等専門学校
26	中性化が進行した RC 供試体に対するシラン系表面含浸工による防食効果	門田悠伽 近藤拓也 河西悠介 仲本善彦 横井克則	高知工業高等専門学校 高知工業高等専門学校 大同塗料 大同塗料 高知工業高等専門学校
27	劣化程度の異なるコンクリートへの含浸材適用とその後の耐久性に関する研究	迫井裕樹 阿波稔 月永洋一 塩田哲康	八戸工業大学 八戸工業大学 八戸工業大学 日興
28	加熱により細孔構造の変化したコンクリートの物質侵入抵抗性と表面含浸材の補修効果に関する検討	杉野雄亮 谷辺徹 前田祐貴 小澤満津雄	太平洋マテリアル 太平洋マテリアル 群馬大学 群馬大学

◇29	無人航空機(ドローン)を活用した構造物へのコンクリート表面含浸材塗布の省力化検証	二村憲太郎 井上靖雄 川前勝三郎 伊代田岳史 長谷川忠大	西武建設株式会社 西武建設株式会社 西武建設株式会社 芝浦工業大学 芝浦工業大学
30	プルオフ法を利用した簡易なシラン系表面含浸材の含浸深さの管理に関する基礎的研究	遠藤裕丈 安中新太郎	寒地土木研究所 寒地土木研究所
31	表面被覆材と表面含浸材の併用による鉄筋の腐食抑制効果	櫻庭浩樹 加藤智丈 佐々木徹 西崎到	土木研究所 土木研究所 土木研究所 土木研究所

セッション6 第3会場 (13:30~15:15)

【力学的性質1】

座長：渡辺健（鉄道総合技術研究所）・山田雄太（日本大学）

32	中性子回折法による鉄筋コンクリートの付着応力度分布の非破壊測定	鈴木裕士 楠浩一 兼松学 向井智久	日本原子力研究開発機構 東京大学 東京理科大学 建築研究所
33	衝突によるコンクリートの貫入深さに関する力学的考察	上野裕稔 別府万寿博 市野宏嘉 高橋順	防衛大学校 防衛大学校 防衛大学校 デンカ
34	SPH法による接触爆発を受けるコンクリート板の局部破壊に関する数値解析的研究	山口信 森島慎太郎 張志成	熊本大学 熊本大学 熊本大学
35	ポリマーセメントモルタルの圧縮強さに及ぼす供試体形状及び荷重速度の影響	西田電 我喜屋宗満 齋藤俊克 出村克宣 掛川勝	日本大学大学院 日本国土開発 日本大学 日本大学 太平洋マテリアル
36	繊維材料の吸水・保水性及び吸上げ性を利用した鋼管杭モルタル被覆防食の延命化技術に関する検討	西田浩太 網野貴彦 加藤誠司 櫻井友彰	東亜建設工業 東亜建設工業 中部電力 中部電力
37	鉄筋が腐食したRC梁の打撃試験によるモード減衰比測定	黒田一郎 菅原隆司	防衛大学校 防衛大学校
38	コンクリートの加熱温度の違いが弾性波伝搬特性に及ぼす影響	大野健太郎 内田慎哉 宇治公隆 上野敦	首都大学東京 立命館大学 首都大学東京 首都大学東京

セッション7 第1会場 (15:30~17:15)			
【電気防食工法】			
座長：加藤佳孝（東京理科大学）・河合慶有（愛媛大学）			
39	コンクリート中の塩化物イオン量を考慮した外部設置犠牲陽極材の鉄筋防食性能	宮口克一 高谷哲 山本貴士 宮川豊章	デンカ 京都大学 京都大学 京都大学
40	流電陽極方式における陽極被覆材の配合および乾湿条件が防食効果に与える影響に関する実験的検討	香田真生 青山敏幸 山本大介 濱田秀則	ピーエス三菱 ピーエス三菱 九州大学 九州大学
41	貼付け型シート陽極による電気防食工法のFEM解析の適用性について	太田翔 三村典正 鹿島篤志 河野広隆	ショーボンド建設 ショーボンド建設 住友大阪セメント 京都大学
42	小型供試体を用いた間欠通電方式による電気防食の防食効果に関する研究	三村典正 黒川公人 太田翔 河野広隆	ショーボンド建設株式会社 ショーボンド建設株式会社 ショーボンド建設株式会社 京都大学
43	振動発電を利用した電気防食工法の基礎検討	茂庭柁彦 皆川浩 宮本慎太郎 久田真 佐藤政博	東北大学 東北大学 東北大学 東北大学 倉本製作所
44	カソード分極試験による鉄筋コンクリート構造物の電気防食効果の評価検討	黒川公人 太田翔 三村典正 河野広隆	ショーボンド建設 ショーボンド建設 ショーボンド建設 京都大学
45	塩害環境下に暴露したコンクリート供試体における各種電気防食工法の防食効果	阿部健 佐々木巖 青山敏幸 福田正平 大谷俊介	日本防蝕工業 土木研究所 ピーエス三菱 クリディエンス ナカボーテック
セッション8 第2会場 (15:30~17:15)			
【床版】			
座長：子田康弘（日本大学）・安里俊則（西日本高速道路）			
46	画像解析技術を用いた遠方からの床版ひび割れ定量評価システムの構築	鈴木三馨 本澤昌美 堀口賢一 坂本淳	大成建設 大成建設 大成建設 大成建設
◇47	超音波トモグラフィによる実物大のRC床版供試体の損傷評価	林田宏	土木研究所
48	FWDによる道路橋床版の健全度評価指標についての一提案	東山浩士 塚本真也 阿部長門 関口幹夫	近畿大学 東亜道路工業 東亜道路工業 東京都

49	加速度波形より抽出した AE 波およびトモグラフィ解析を用いた鋼板接着 RC 床版の損傷評価	橋本勝文 茅野茂 西田孝弘 麻植久史 塩谷智基	京都大学 阪神高速道路 京都大学 京都大学 京都大学
50	後方散乱中性子を利用した道路橋床版内の損傷可視化技術	池田義雅 大竹淑恵 水田真紀	理化学研究所 理化学研究所 理化学研究所
51	鋼板接着補強された RC 床版の AE トモグラフィによる損傷評価	茅野茂 塩谷智基 西田孝弘 橋本勝文 宮川豊章	京都大学 京都大学 京都大学 京都大学 京都大学
52	含浸系床版防水工法の開発と適用性に関する研究	田村悟士 新名勉 谷口惺 盛岡諒平 角掛久雄	アイゾールテクニカ 阪神高速道路 阪神高速道路 大阪市立大学 大阪市立大学

セッション9 第3会場 (15:30~17:15)

【力学的性質2】

座長：佐藤靖彦（北海道大学）・中村英佑（土木研究所）

53	遠心成形コンクリート柱のたわみに及ぼす圧縮クリープの影響	伊藤始 西田悠介 竹中寛 中田将太郎 涌波佑奈	富山県立大学 東京電力ホールディングス 東洋建設 富山県立大学 富山県立大学
54	AE エネルギーを指標とした4点曲げ載荷試験による鋼矢板-被覆コンクリートの破壊挙動評価	島本由麻 鈴木哲也 五十嵐正之 大野剛 浅野勇	新潟大学 新潟大学 新潟大学 共和コンクリート工業 農研機構
55	鋼角ストッパー周辺のコンクリートのせん断破壊メカニズムに関する一考察	岡本圭太 笠倉亮太 轟俊太郎 田所敏弥 進藤良則	鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道・運輸機構
56	桁流出防止工法の抵抗機構に対する作用角度の影響	佐藤祐子 渡辺健 轟俊太郎 安保知紀 村田裕志	鉄道総研 鉄道総研 鉄道総研 鉄建建設 大成建設
57	AE エネルギーを指標とした凍害コンクリートの損傷度評価の試み	鈴木哲也 島本由麻	新潟大学 新潟大学

第2日目 10月13日(金)

セッション10 第1会場 (9:00~10:30)

【材料特性1】

座長：谷口円（北方建築総合研究所）・斎藤豪（新潟大学）

58	フライアッシュコンクリートの塩化物イオンの見掛けの拡散係数に対する浸せき期間の影響評価	松井淳 五月女敦 中村智	電力中央研究所 電源開発 電源開発
59	高炉セメントB種にフライアッシュを混合した低炭素型高強度コンクリートに関する研究	鈴木好幸 濱幸雄 石川伸介 小田部裕一 宮原健太	安藤ハザマ 室蘭工業大学 安藤ハザマ 住友大阪セメント 住友大阪セメント
60	高炉スラグ細骨材の物性が硬化後のモルタルの基礎物性に及ぼす影響	藤田亮 皆川浩 宮本慎太郎 久田真 細谷多慶	東北大学 東北大学 東北大学 東北大学 ランダス
61	シリコンオイルが高炉スラグ微粉末を用いたモルタルの中性化抵抗性、乾燥収縮および耐凍害性に及ぼす影響	岸本豪太 金準鎬 崔亨吉 濱幸雄	室蘭工業大学 室蘭工業大学 室蘭工業大学 室蘭工業大学
62	CaO・2Al ₂ O ₃ 混和材を混合したコンクリートにおける塩化物イオンの固定化能力について	東雄介 武若耕司 山口明伸 審良善和 宮口克一	鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学 鹿児島大学 電気化学工業
63	低固形分を有するセメント混和用ポリマーディスパーションの貯蔵安定性	岡田明也 我喜屋宗満 齋藤俊克 出村克宣 掛川勝	日本大学 日本国土開発 日本大学 日本大学 太平洋マテリアル

セッション11 第2会場 (9:00~10:30)

【アルカリシリカ反応1】

座長：川端雄一郎（海上・港湾・航空技術研究所）・鶴田孝司（鉄道総合技術研究所）

64	ASR劣化したPC梁試験体の載荷試験結果および曲げ耐荷性能評価法の検証	廣井幸夫 戸田圭彦 高木祐介 山本貴士	IHI インフラ建設 JIP テクノサイエンス IHI インフラ建設 京都大学
65	ASR劣化したPC梁試験体のコアの力学特性および断面のひび割れ性状に関する研究	高木祐介 廣井幸夫 牧大樹 山本貴士	IHI インフラ建設 IHI インフラ建設 IHI インフラ建設 京都大学

66	共振法に基づく ASR 劣化した PC 桁試験体の剛性評価	神宮裕作 内藤英樹 TUAN HA 深田宰史 鳥居和之	東北大学 東北大学 金沢大学 金沢大学 金沢大学
67	ASR 劣化した PC 桁試験体の振動性状に着目した耐荷力性能評価に関する考察	宮村正樹 中野聡 田中泰司 深田宰史 鳥居和之	福山コンサルタント 福山コンサルタント 東京大学 金沢大学 金沢大学
68	ASR による膨張が断面修復後の補修界面に与える影響	HOHongSao 杉山瑞樹 菊池創太 久保善司	金沢大学 国土開発センター 金沢大学 金沢大学

セッション 12 第 3 会場 (9:00~10:30)

【繊維補強】

座長：国枝稔（岐阜大学）・河野克哉（太平洋セメント）

69	プレキャストパネルと高強度繊維補強モルタルを用いて補強した RC 柱の変形性能に関する実験的検討	笠倉亮太 渡辺健 田所敏弥 黒岩俊之 宇治公隆	鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 東急建設 首都大学東京
70	炭素繊維複合パネルによる柱部材の耐震補強効果の検討	河村圭亮 新藤竹文 松岡康訓 菅野道昭 池山正一	大成建設 大成建設 成和リニューアルワークス 成和リニューアルワークス 成和リニューアルワークス
71	早強セメントと低収縮型早強性混和材を用いた SFRC による鋼床版の補強法	野口博之 阿部忠 川井豊 一瀬八洋	日本大学 日本大学 日本大学 鹿島道路
72	短繊維補強コンクリートを用いたループ継手の部材性能	竹山忠臣 佐々木亘 篠崎裕生 樋口正典 内田裕市	三井住友建設 三井住友建設 三井住友建設 三井住友建設 岐阜大学
73	既調合繊維補強ポリマーセメントモルタルの凍害劣化が引張性状に及ぼす影響	長谷川諒 川村和史 崔亨吉 濱幸雄	室蘭工業大学 室蘭工業大学 室蘭工業大学 室蘭工業大学
74	吹付け可能な超高強度繊維補強コンクリートに関する実験的研究	高木智子 渡邊有寿 柳井修司 青山達彦 坂井吾郎	鹿島建設 鹿島建設 鹿島建設 鹿島建設 鹿島建設

セッション 13 第 1 会場 (10:45~12:30)
 【材料特性 2】
 座長：山崎順二 (浅沼組)・小川由布子 (広島大学)

75	フレッシュモルタルの透水係数と硬化モルタル表層の透気性の関係に及ぼす使用材料と空気量による影響	関谷有紗加 BATSUURIASHidmaa 澤田陽 犬飼利嗣	岐阜工業高等専門学校 岐阜工業高等専門学校 竹本油脂 岐阜工業高等専門学校
76	モルタルの流動性および振動締固めが硬化後の物質透過性に与える影響に関する基礎的検討	佐々木亘 高谷哲 恩田陽介 谷口秀明 山本貴士	三井住友建設 京都大学 三井住友建設 三井住友建設 京都大学
77	ブリーディングに起因する表層品質の相違に対する透気係数および含水率の関係に基づく評価方法	久保勇登 河合慶有 氏家勲	愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学
78	4 プローブ法をコンクリート供試体に適用した時のセル定数の数値解析による算定とその検証	皆川浩 駒井道哉 藤田亮 宮本慎太郎 久田真	東北大学 東北大学 東北大学 東北大学 東北大学
79	電気抵抗を用いた各種養生方法による養生効果評価手法の提案	三坂岳広 伊代田岳史	芝浦工業大学 芝浦工業大学
80	表面電位分布の測定による不飽和モルタル中含水率分布の非破壊評価手法に関するフィージビリティスタディ	駒井道哉 藤田亮 皆川浩 宮本慎太郎 久田真	東北大学 東北大学 東北大学 東北大学 東北大学
81	耐硫酸性に優れるコンクリートの供用施設における施工性と耐久性の実証	大脇英司 藤野由隆 武元貴裕 林悦朗	大成建設 宇部興産 東京都下水道局 東京都下水道サービス

セッション 14 第 2 会場 (10:45~12:30)
 【アルカリシリカ反応 2】
 座長：三方康弘 (大阪工業大学)・寺本篤史 (広島大学)

82	ASR 抑制を目的としてフライアッシュ原粉を用いたコンクリートの物性	大谷智也 恩田尚明 高木雄介 小林孝一	岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学
83	反応速度論に基づく ASR 膨張モデルと長期曝露試験体の膨張挙動の比較	上野貴行 佐川康貴 濱田秀則 山田一夫 川端雄一郎	九州大学 九州大学 九州大学 国立環境研究所 海上・港湾・航空技術研究所

84	変位データを用いた損傷評価手法のASR劣化析への適用	深田宰史 HaMinhTuan 鳥居和之 小林和弘	金沢大学 金沢大学 金沢大学 ピーエス三菱
◇85	アルカリラッピングしたコンクリートプリズムを用いたASR加速試験の適用性に関する考察	佐川康貴 富山潤 五十嵐豪 吉田夏樹 小川彰一	九州大学 琉球大学 東北大学 日本建築総合試験所 太平洋コンサルタント
86	アルカリラッピングしたコンクリートプリズム試験におけるコンクリートのASR膨張挙動のモデル化	川端雄一郎 山田一夫 柳川貴光 江藤淳二	海上・港湾・航空技術研究所 国立環境研究所 太平洋コンサルタント 三菱総合研究所
87	ASRと凍害の複合劣化コンクリートに対する表面保護工法の適用	上田隆雄 園田胡桃 中山一秀 塚越雅幸	徳島大学 パシフィックコンサルタンツ 徳島大学 徳島大学
88	過酷な塩害環境下に建設された長大離島架橋の劣化状況に関する調査研究	風間洋 富山潤 砂川勇二 比嘉正也 小旗俊介	アール・アンド・エー 琉球大学 沖縄県 沖縄県建設技術センター 中研コンサルタント

セッション 15 第3会場 (10:45~12:30)

【点検・調査の方法1】

座長：今本啓一（東京理科大学）・大野健太郎（首都大学東京）

89	コンクリート表面での振動測定による鋼球とコンクリートとの接触時間の測定方法の検討	岩野聡史 内田慎哉 久保元樹 山下健太郎 渡部正	リック 立命館大学 日東建設 東洋計測リサーチ 日本大学
90	鋼球打撃によりコンクリートへ入力される弾性波の周波数特性に関する基礎的検討	久保元樹 内田慎哉 岩野聡史 森和也 炭谷浩一	日東建設 立命館大学 リック 熊本大学 大進コンサルタント
91	鉄道橋の振動特性把握による共振波形導出手法の提案	栗林賢一 山口紘平 松本理佐 服部篤史 河野広隆	ジェイアール西日本コンサルタンツ 京都大学 京都大学 京都大学 京都大学
92	円筒スロットアンテナによるコアドリル前方鉄筋探査	津野祐丞 三輪空司	沖電気工業 群馬大学
93	拡張型打込みアンカーのナット締付けトルクによるコンクリートの凍害劣化点検手法の検討	内藤勲 安中新太郎	土木研究所 土木研究所

◇94	水中調査ロボットによる水中部のダム上流面の点検・調査の現場実証	水野剣一 杉本英樹 森屋陽一 小笠原哲也 武井俊哉	五洋建設 五洋建設 五洋建設 五洋建設 五洋建設
95	シーすに対する弾性波の反射・透過特性に基づく PC グラウト充填状況評価手法に関する研究	朝倉響 鎌田敏郎 服部晋一 内田慎哉 寺澤広基	大阪大学 大阪大学 大阪大学 立命館大学 大阪大学

セッション 16 第 1 会場 (13:30~15:30)

【補強工法】

座長：鶴田浩章（関西大学）・江口康平（東京理科大学）

96	共振の発生した鉄道 PRC 桁の補強対策	後藤恵一 大澤章吾 上半文昭 築嶋大輔 箕浦慎太郎	鉄道総合技術研究所 東日本旅客鉄道 鉄道総合技術研究所 東日本旅客鉄道 鉄道総合技術研究所
97	シアキー付鋼管と巻き立てた高強度ひずみ硬化型セメント系材料の接合部におけるずれ抵抗性に関する基礎的検討	忽那惇 田中亮一 網野貴彦 加藤絵万 川端雄一郎	東亜建設工業 東亜建設工業 東亜建設工業 海上・港湾・航空技術研究所 海上・港湾・航空技術研究所
98	杭頭部付近で著しく腐食した栈橋鋼管杭に対する高強度ひずみ硬化型セメント系材料と鋼板を用いた巻立て補強に関する検討	田中亮一 忽那惇 加藤絵万 網野貴彦 川端雄一郎	東亜建設工業 東亜建設工業 海上・港湾・航空技術研究所 東亜建設工業 海上・港湾・航空技術研究所
99	ひずみ硬化型セメント複合材料を用いた RC 橋脚の補修性能の検討	山本翔吾 矢野義知 木下幸治 林承燦 新家一秀	岐阜大学 岐阜大学 岐阜大学 デーロス・ジャパン トーヨーマテラン
100	接合面の状態が接着剤および炭素繊維シートを適用した定着ブラケット構造の破壊荷重に与える影響	木村俊紀 石川直 中井督介 荒添正棋 山本貴士	IHI インフラ建設 IHI インフラ建設 エスイー 新日鉄住金マテリアルズ 京都大学
101	アンカー固定方式パネル工法におけるグラウト材充填時のアンカー引抜荷重に関する考察	藤本光伸 兵頭正浩 緒方英彦	鳥取大学 鳥取大学 鳥取大学
◇102	内的固定定着部を用いたポストテンション方式プレストレス導入工法の実構造物への適用と先端部充填材に関する検討	三原孝文 三本竜彦 倉富芳朗 虻川真大 吉武勇	極東興和 極東興和 極東興和 日本プライススリーブ 山口大学

セッション 17 第 2 会場 (13:30~15:30)			
【劣化予測・維持管理計画】			
座長：長田光司 (中日本高速道路) ・ 三浦泰人 (名古屋大学)			
103	火力発電所における塩害環境評価に関する基礎的研究	崎原康平 石川嘉崇 石川学 山田義智 富山潤	琉球大学 電源開発 電源開発 琉球大学 琉球大学
104	栈橋上部工の劣化進行に影響を及ぼす要因の分析	田中豊 川端雄一郎 加藤絵万	海上・港湾・航空技術研究所 海上・港湾・航空技術研究所 海上・港湾・航空技術研究所
105	塩化物イオン浸透分布とかぶりのばらつきを考慮した港湾構造物の塩害劣化予測に関する一考察	網野貴彦 石川嘉嵩 西田浩太	東亜建設工業 電源開発 東亜建設工業
106	風向を考慮した 3 次元数値解析によるコンクリート橋の付着塩分量推定	山下将一 富山潤 阿部和久 佐伯竜彦 紅露一寛	新潟大学 琉球大学 新潟大学 新潟大学 新潟大学
107	構造物周辺の地形・風況・飛来塩分の詳細調査とその予測技術の基礎的研究	中村文則 大原涼平 井野裕輝 山口貴幸 下村匠	長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学
◇108	チェックシートを用いた補修品質の向上に向けたしくみづくり	国枝稔 古澤栄二 牧野徹 安藤健太郎 稲田大輔	岐阜大学 テイコク 大日コンサルタント 大同コンサルタント 吉川工務店
109	橋梁点検データを活用した劣化リスク分類とその劣化推移について	久保善司 菊池創太	金沢大学 金沢大学
110	スマートフォンを用いた住民参加型の橋梁点検システム構築と実用化に向けての検討	井林康 林穂香 皆川敦也	長岡工業高等専門学校 NTT-ME 長岡技術科学大学
セッション 18 第 3 会場 (13:30~15:30)			
【点検・調査の方法 2】			
座長：皆川浩 (東北大学) ・ 迫井裕樹 (八戸工業大学)			
111	表面弾性波可視化技術による表面被覆下で発生・進展するコンクリートのひび割れ検査	山名晋平 畠堀貴秀 松本理佐 服部篤史 河野広隆	京都大学 島津製作所 京都大学 京都大学 京都大学

112	ひび割れを可視化する先進機能材料シートの実装化へ向けての検討	大屋貴生 三村典正 百武壮 土谷浩一 不動寺浩	物質・材料研究機構 ショーボンド建設 土木研究所 物質・材料研究機構 物質・材料研究機構
113	導電塗料を用いた鉄道 PC 桁のひび割れ検知手法に関する検討	永坂亮介 仁平達也 岡本大 舟川勲 澁谷 旬要	鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 鉄道総合技術研究所 JR 総研エンジニアリング パシフィックコンサルタンツ
114	小型加速器中性子源を利用したコンクリートにおける水の浸透性状評価	吉村雄一 水田真紀 須長秀行 大竹淑恵 林崎規託	東京工業大学 理化学研究所 理化学研究所 理化学研究所 東京工業大学
115	小型中性子源および即発ガンマ線を用いたコンクリート構造物内塩分濃度分布の非破壊診断技術の開発	若林泰生 吉村雄一 水田真紀 大竹淑恵 池田裕二郎	理化学研究所 理化学研究所 理化学研究所 理化学研究所 原子力機構
◇116	電磁ハンマと磁歪センサを搭載したユニットを 3 台連結した平地走行ロボットによる RC 床版内部の欠陥検出方法	野崎峻 内田慎哉 松橋貫次 栗原陽一 神田利之	立命館大 立命館大 オンガエンジニアリング オンガエンジニアリング ケミカル工事
117	アンカー引抜試験による表層部コンクリートの凍害劣化診断のための試験条件およびアンカー治具の開発に関する研究	緒方英彦 加藤諭 清水邦宏 金子英敏 石神暁郎	鳥取大学 鳥取大学 サンコーテクノ株式会社 サンコーテクノ株式会社 寒地土木研究所
118	外壁検査に適した 5~8 μ m 波長帯に感度を有する赤外線カメラの開発と適用性の検討	鄭子揚 佐藤大輔 竹内優人 阿瀬弘紀 阪上隆英	コンステック コンステック 神戸大学 神戸大学 神戸大学

[スケジュール]

会 場	第 1 会場 (A・B・C 会議室)	第 2 会場 (第 2・第 3 セミナー室)	第 3 会場 (中会議室)
第 1 日目 10 月 12 日 (木)			
9:00~9:30	受 付		
9:30~9:35	開会式	—	—
9:35~9:45	休 憩		
9:45~11:15	セッション 1 【鋼材腐食 1】	セッション 2 【補修工法】	セッション 3 【あと施工アンカー】
11:15~11:30	休 憩		
11:30~12:30	招待講演	—	—
12:30~13:30	昼 食		
13:30~15:15	セッション 4 【鋼材腐食 2】	セッション 5 【表面含浸工法】	セッション 6 【力学的性質 1】
15:15~15:30	休 憩		
15:30~17:15	セッション 7 【電気防食工法】	セッション 8 【床版】	セッション 9 【力学的性質 2】
17:15~17:45	休 憩 (懇親会受付)		
17:45~19:15	懇親会 (レストラン朱雀)		
第 2 日目 10 月 13 日 (金)			
8:30~9:00	受 付		
9:00~10:30	セッション 10 【材料特性 1】	セッション 11 【アルカリシリカ反応 1】	セッション 12 【繊維補強】
10:30~10:45	休 憩		
10:45~12:30	セッション 13 【材料特性 2】	セッション 14 【アルカリシリカ反応 2】	セッション 15 【点検・調査の方法 1】
12:30~13:30	休 憩		
13:30~15:30	セッション 16 【補強工法】	セッション 17 【劣化予測・維持管理計画】	セッション 18 【点検・調査の方法 2】
15:30~15:45	休 憩		
15:45~16:15	閉会式	—	—